

ほっとHOT通信

三田の
きらびと
☆輝人☆さん
紹介

～いきいきシニアさん
いらっしゃ～い～

いつまでも元気に
輝き続ける
シニアをご紹介します。

今回は、取材でお世話になった人からのご紹介！
「趣味で養蜂をやってる楽しい人がいるよ」との
こと！早速、向かうと日本ミツバチのとりこにな
った人たちに会うことが出来ました。

僕たち、日本ミツバチに夢中です♡



▲上から日本ミツバチの養蜂を
趣味で楽しむ北野さん、前田さ
ん、笹原さん。「摂丹日本ミツ
バチの会」を設立し、日本ミツ
バチの保護と環境の保全に取り
組んでいます。

発行・編集：いきがい応援プラザ～HOT～

三田市駅前町2-1 まちづくり協働センター(キッピーモール6階) Tel:079-559-6800

Fax:079-563-8001

メール:ikigai_ouen@city.sanda.lg.jp ホームページ:https://www.hot-sanda.com





養蜂の魅力その1 「手軽さ」

北野哲男さん(大原・90歳) 摂丹日本ミツバチの会名誉会長



養蜂を始めたのは、かれこれ30年くらい前。同僚に簡単だから始めてみるよう勧められ、巣箱を作って家まで持ってきてくれたから。庭先に置いておくだけで世話もほとんど必要なし。最初の年に8リットルくらい採れて、近所の人に配って喜んでもらったことを今もよく覚えています。今年で90歳。はちみつを食べているから元気なんだと周りの人から言われます。西洋ミツバチは家畜の要素が強く、ある程度の世話をすれば上手くいくけど、日本ミツバチは神経質で気に入らないと逃亡するし、巣箱にも居ついてくれません。それが面白いところの一つ。最近では昔に比べ、日本ミツバチが少なくなって巣箱に入ってもらうのが難しくなりました。農薬がドローンで散布されるようになったことや農薬の効果が長く続くためだと思います。ミツバチは養蜂だけでなく、農作物を作るうえで自然界に必要な存在。日本在来種である日本ミツバチがいつまでも飛び交ってくれるような自然あふれる三田であることを願っています。



▲ 自宅の庭に置かれた巣箱と日本ミツバチ。ネットはスズメバチ除け。

趣味で養蜂?! 意外と手のかからない日本ミツバチ

趣味で養蜂と聞いて、最初に刺されないのかな?民家の庭に置いて大丈夫?そんな疑問が浮かびました。日本ミツバチは温和でめったに人を刺さず、庭の片隅でも飼うことが可能です。世話のし過ぎはかえってミツバチのストレスになるためさほど手もかかりません。そんな日本ミツバチの養蜂にはまった3人の方に魅力をお聞きしました。



養蜂の魅力その2 「貴重な蜂蜜」

前田保和さん(大原・77歳) 摂丹日本ミツバチの会会長

養蜂を始めたきっかけは、近所の北野さんがやっているのを見て。簡単そうなので自分もやってみようと思いましたが。最初の2、3年は順調に巣箱にミツバチが入って蜜が採れたのですが、その後しばらくはスランプ。いろいろ調べて試してみましたよ。はまった最大の理由は蜂蜜の美味しさ。市販の蜂蜜とは比べものにならないです。西洋ミツバチの蜜とは違い、喉を刺すような刺激がなくさっぱりとまろやかな美味しさです。面白いことに巣箱によって、また巣箱の階によっても微妙に味が違うんですよ。日本ミツバチの採蜜は年に1回。西洋ミツバチのように家畜化されていないので採れる量が少なく、趣味で楽しんでいる方が多いのであまり売られていません。そんな天然の貴重な蜂蜜を口にできるのは有難いと思います。



私は仕事で木の伐採などをするのですが、ミツバチの匂いがついていて、気が付くと服にミツバチがとまっていることがあるんです。私が養蜂をやっていることを分かってくれている気がして可愛いなあと思います。現在、自然志向ブームなこともあり摂丹日本ミツバチの会の参加人数が急に増えてきました。三田の自然、日本ミツバチを保護するためにもこの活動を続けていきたいと思っています。

養蜂の魅力その3 「日本ミツバチの賢さ」

笹原正春さん(大川瀬・64歳) 摂丹日本ミツバチの会事務局長



以前住んでいた家に日本ミツバチが巣を作りました。取り除いたのにまた巣が作られ、よほど大川瀬地域は巣を作るのに適した場所なのだろうと思い養蜂を始めました。最初は軽い気持ちで始めたけれど、朝から晩までせっせと蜜を集めてくる健気さに情が移ってしまい、巣箱の数がだんだんと増えていきました。仲間を呼び寄せるためにオオスズメバチが巣に付けた匂いを必死で消したり、みんなでオオスズメバチを取り囲み熱死させる力強い一面も西洋ミツバチにはない面白いところです。

ある時、私の肩にとまって悲しい羽音を出すので「何かあったのかな」と思い巣箱を見に行くとオオスズメバチにやられそうになっていて慌てて駆除して事なきを得たことも。人間に知らせにくるなんてミツバチって本当に賢いなあと思いました。



ミツバチの存在は生態系に欠かせない存在。ミツバチによって多くの植物の生殖が成り立っています。ハチは見つけたらすぐに駆除しなくてはと思うかもしれませんが、日本ミツバチはおとなしいハチで危害を加えない限り襲ってくることはありません。せっせと働く姿にこちらも気力が湧いてきて見ているだけで癒されますよ。多くの人にこの養蜂を勧めたいと思います。

私にも始められるかな？
日本ミツバチの養蜂のこともっと知りたーい！

摂丹日本ミツバチの会

日本在来種のミツバチ愛護のため、三田市在住の数人で保護繁殖、研究、自然保全と共生を目的に14年前に結成されました。

入会には、申し込みと入会金・年会費が必要です。養蜂が出来る場所のない会員のために巣箱を置く「蜂場」のあっせんと管理を行っています。別途、設置費用が必要。巣箱を置く場合は年1回、県への届け出も必要です。

また、研修や情報交換を目的に隔月で「みつばちサロン」を開催しています。現在はコロナ禍のためサロンの開催可否をその都度、役員会で検討。「摂丹日本ミツバチの会」のホームページでお知らせしています。参加希望者は、事務局へ事前に連絡ください。



▲研究発表を熱心に聞く参加者の会員さん



▲会員からの質問に答える北野さん

11月14日(土)
有馬富士共生センター



参加者は43人、新規入会の方も数人いらっしゃいました。この日は飼育管理のコツなどを発表のあと、笹原事務局長が自宅の巣箱から取れた巣蜜を持参し、採蜜の実演講習。蜂蜜が採れる巣箱は貴重。なかなかできない体験とあって大盛況。たくさんの質問が飛び交っていました。また、蜜を採ったあとの巣くずは空の巣箱に塗ると蜂の呼び込みに一役買うので、たくさんの方が持ち帰られました。多くの巣箱に蜂が来てくれることを期待しています！！

コロナに負けずがんばってます！

コーラスグループ「^{サクダック}SAKDAC ^{ハーモ}HARMO」



さんだ生涯学習カレッジのフラワータウン校コーラス部卒業生を中心に発足した男女混声合唱団。月3回練習を実施していましたが、3月から新型コロナウイルスの影響で練習は中止。会員の皆さんは練習もさることながら、練習のあとの仲間との語らいも楽しみだったので残念で不安な日々。役員はそんな会員の皆さんに希望を持って過ごしてもらえるよう、メールで連絡を取り合い、新しい楽譜や指導者である白井明美先生からの直筆メッセージを届けたり、練習再開に向けコロナ対策の話し合いを続けました。そして、ついに10月より練習を再開！！

練習場所であるフラワータウン市民センターの視聴覚室が密にならないよう、2班に分けて週替わりで練習を実施。月に1回は合同練習をと、同センターのホールに会場を移して練習。会員の皆さんからは、「自分にとってコーラスに参加することが楽しみになっていたことがよく分かった」「みんなが元気で練習を再開できたことがとてもうれしい」といった声がありました。代表の藤野美津代さんからは、「会員の体調管理を第一に、役員で話し合いを重ね、このような形で再開できたことは



嬉しいです。まだまだコロナ禍にあるので気を配りながら、歌うこと・集うことの楽しさをみんなで感じていきたい。もうすぐ迎える10周年の記念発表会開催を目標にこれからも頑張ります」と力強いお言葉がありました。

ご存じですか？

旬の野菜「^{シュンギク}春菊」

春菊は緑黄色野菜。抗がん作用や免疫賦活作用で知られるβカロテンをたくさん含み、また骨を丈夫にするカルシウムや鉄分などのミネラルを豊富に含みます。

その他、ナトリウム（塩分）の排出を促すカリウムによる高血圧予防作用が期待でき、独特な香りの成分には胃腸を活性化し、咳や痰を抑える効果があります。

お鍋のほか、おひたしや天ぷらもおススメです。

ぜひ、春菊を取り入れたいですね。



編集後記

早いもので、あと1カ月足らずで新しい年を迎えようとしています。

4月よりメンバーを一新し、スタートしましたがコロナ禍により、思うような活動の出来ない年となりました。

来年は今年以上に、皆さまが参加しやすい企画やほんと立ち寄ってもらえる場所を目指し、相談員一同がんばります。

引き続き、よろしく
お願い致します。
良いお年をお迎え
ください。

